

「感謝」と「継続」を大切に ゴルフと向き合いたい

プロゴルファー
宮澤 美咲氏

みやざわ みさき 北海道千歳市出身、21歳。父の勧めで7歳からゴルフを始める。2021年のJLPGAプロテストに合格し、22年9月にステップアップツアー(SkyレディースABC杯)でプロ初勝利を飾る。得意クラブは8番アイアン。

「暮らしのIoT」で地方創生を目指すHESTA大倉(東京・千代田)の所属選手として、国内最高峰のJLPGA日本女子プロゴルフ協会ツアーに参戦する宮澤美咲プロ。屈託のない笑顔と清々しいプレースタイルで、多くのファンを引っ張り付けています。今後の抱負などを伺い、宮澤プロの魅力に迫りました。

「プロ2年目の今シーズン、どんな心境でプレーしていますか。」

「初めてのJLPGAツアーに参加できなかったが、一緒にラウンドする選手やキャディーの皆様も、運営スタッフの皆様も、いつも笑顔で声をかけてくださるので安心してました。まだ無名の私にこんなにも優しく接してくださるなんて感謝しかないです。」

「所属するHESTA大倉のホテルを利用して全国を回っています。会場から戻るといつもホテルスタッフの方々が『お疲れなさい』と声をかけてくださいます。ツアー中は自宅を離れるのが寂しいのですが、自分の家に帰るような感覚でリラックスできています。昨年、ステップアップツアーで初優勝した際には玄関で迎えていただきました。」

「所属するHESTA大倉のホテルを利用して全国を回っています。会場から戻るといつもホテルスタッフの方々が『お疲れなさい』と声をかけてくださいます。ツアー中は自宅を離れるのが寂しいのですが、自分の家に帰るような感覚でリラックスできています。昨年、ステップアップツアーで初優勝した際には玄関で迎えていただきました。」

「初めての方が笑顔なのは、宮澤さんが笑顔だからでは? ポギーの時も笑顔ですね。」

「子どもの頃からそうで、母には『負けたのに、よく笑っているね』と叱られていました。もちろん悔しいのですが『負けたことは仕方ない。次を頑張ろう』と思える性格のようです。9月の『マイケレヒ杯ダンロップ女子オープン』で一日にチップインパーディーを2回取ることができたのですが、その日の最初のボギーはボギーでした。スタートが悪い方が気持ちを切り替えられるのかもしれないですね。逆に最初にパーディーがくると、油断してしまう性格なのだと思います。」

「今年はお母さんがキャディーを務めた試合もありました。『母はキャディーが初めての経験で、周りの方に迷惑をかけないか心配でした。でも皆様から『大丈夫だよ』と声をかけていただけて無事にラウンドすることができました。母のキャディーで2度プレーして、結果はどちらも良



ボギーでも笑顔「さあ次へ！」



「もっと強くなるために、何が必要だと感じていますか。」

「練習シーズンに参加させていただいて初日は体力が大切だと思います。初日が良くてもう白目に調子が鈍り、3日目にスコアを崩してしまう。こんな展開が続いていて、やはり体力が足りないと感じています。所属するHESTA大倉はヘルスケア関連サービスを手掛けていて、体調管理のサポートもしていただいています。」

「特に、何となく『体力をつけろ』ではなく、『データに基づいた取り組みが重要だとアドバイスももらっています。例えば体重や骨量などのデータと、体調や成績の変化がどう関係しているのかがわかれば、効果的なトレーニングができます。HESTA大倉の清瀬静男代表には『一番大切なのは継続すること。データに基づいた体調管理を続けられれば、ケガも病氣も予防できる』と声をかけていただいています。継続することは大変ですが、自分を進化させられるように、自分の体と真剣に向き合う努力を継続していきたいと思っています。」

「最後に、どんなゴルフアを目指していますか。」

「まずはJLPGAツアーで1勝して、私を支えてくださる多くの方々に恩返ししたいです。そして常に上位で戦えるように技術と体力を向上させ、できるだけ長く活躍できるゴルファーになることが目標です。」

「データに基づく体調管理」の意義発信 セカンドキャリアも視野、末永く支援

HESTA大倉 代表取締役CEO兼COO 清瀬 静男氏

宮澤さんは結果に関わらず、いつも笑顔です。一喜一憂することなく、常に前を向く。プレーする姿を見るたびに「経営に通じるものがあるな」と学ぶ瞬間が多々あります。

笑顔は、周囲に広がり大きな力となります。宮澤さんはプロ2年目で、まだJLPGAツアーで未勝利ですが、徐々にファンが増えています。おそらく彼女の笑顔の根底に「感謝」の気持ちが溢れているからでしょう。おごらず、常に周囲への感謝を大切に。ご両親の教育の賜物ですが、これも仕事に通じるころがあります。周囲への感謝の気持ちがあれば、いつかは結果として自分に返ってくる。特に宮澤さんと接することの多いホテルで働く社員は、多くを学んでいるのではないのでしょうか。

そしてアスリートが教えてくださる最も大切なことは「継続」の大切さです。当社ではIoTを活用し、日々の健康データを蓄積して「未病」を支援するサービスを医療機関と展開しています。実は健康な人にデータの測定・蓄積という地道な作業を継続してもらうのは本

に難しい。それでも未病を支援する仕組みを広めなければ、日本の医療システムは崩壊してしまいます。

「究極の体調管理」を実践しているのがアスリートの皆さんです。「昨日の自分」を超え続けるには、データに基づいた科学的なアプローチによるトレーニングや食事管理が不可欠です。データで己を把握できれば、スランプもなくなるでしょう。宮澤さんをはじめ、当社が支援するアスリートに「HESTAヘルスケア」サービスを活用していただき「継続こそ力なり」を体現していただきたい。そして多くの方々に健康管理の大切さを感じ取ってもらいたい。当社のアスリート支援の本当の想いはここにあります。

「感謝」と「継続」の大切さを笑顔で伝えてくださる宮澤さんは、HESTAの大きな力です。宮澤さんを心身ともに支えるご家族も含め、引退後のセカンドキャリアも視野に末永くご支援していきます。そして「健康で安心して暮らせる未来の社会」をともに目指して下さるアスリートがいれば、競技や年齢問わず支援していきたいと考えています。

IoTで未病を支援! 「HESTAヘルスケア」



<https://okura.co.jp/>



皆様のライフスタイルに
役立つHESTAアイテムを
インスタでチェック!



企画・制作=
日本経済新聞社Nブランドスタジオ

広告